

## 科学研究費助成事業（科学研究費補助金）研究成果報告書

平成 25年 5月 23日現在

機関番号：34504

研究種目：基盤研究（C）

研究期間：2010～2012

課題番号：22530654

研究課題名（和文）大阪「博愛社」の歴史的研究

研究課題名（英文）History research on Hakuaisha, Osaka, Japan

## 研究代表者

室田 保夫 (MUROTA YASUO)

関西学院大学・人間福祉学部・教授

研究者番号：90131614

## 研究成果の概要（和文）：

整理・保存作業については、2010年3月に完成した仮目録の確認・整理作業及び保存作業、貴重史料の複製、写真撮影作業を継続して行った。また、未着手であった書簡・ハガキ類の整理作業を実施し、史料目録を刊行した。

次に、博愛社創設期における特に貴重な史料である小橋勝之助日記の解説、翻刻作業を継続して行い、翻刻作業の成果を出版した。

これらの史料を用いて、博愛社を中心とした大阪地域の慈善事業や社会事業の実体解明に関する研究を行い、その成果を論文集として刊行した。

## 研究成果の概要（英文）：

Classification and preservation work consisted of carrying out the identification, classification, and preservation work based on the provisional bibliography completed in March 2010, copying important documents, and photographing. Furthermore, classification work on the untouched letters and postcards was conducted, and as a result, "Bibliography of Historical Documents of Hakuaisha (Letters and Postcards 1)" was published.

Next, Katsunosuke Kobashi's diary, a valuable piece from the early foundation period of Hakuaisha was decoded and reproduced, and the resulting reproduction work, "Kobashi Katsunosuke's Diary: The Pilgrim's Progress" was published.

Finally, based on these documents, research meetings were held to investigate and clarify the charities and social work in the Osaka area, which was centered around Hakuaisha. The findings were published as "History Research of Osaka's Hakuaisha", which includes five studies and research notes, and one foreword introducing the historical documents.

## 交付決定額

(金額単位：円)

	直接経費	間接経費	合計
2010年度	1,200,000	360,000	1,560,000
2011年度	1,100,000	330,000	1,430,000
2012年度	900,000	270,000	1,170,000
年度			
年度			
総計	3,200,000	960,000	4,160,000

研究分野：社会科学

科研費の分科・細目：社会学、社会福祉学

キーワード：慈善事業、社会事業、児童福祉、児童養護施設、育児事業、博愛社、小橋勝之助、小橋実之助

## 1. 研究開始当初の背景

この研究は大阪にある児童養護施設博愛社について歴史的かつ多角的に研究を行うものである。

博愛社は 1890 (明治 23) 年、兵庫県赤穂の地に小橋勝之助によって創設されたもので、後に大阪に移転され、今日まで約 120 年の歴史を持つ伝統ある施設である。また、この施設には創立以来、およそ一万点に及ぶ重要な史料が大切に保存されてきた。しかし、その史料はこれまでほとんど日の目を見るに至らなかった。

2007～2009 年にかけて、科学研究費補助金を得て、史料の仮目録を作成し、特に貴重な史料は複製の作成や写真撮影を行ってデジタル化した。

しかし、さらに多くの史料が未整理のまま残されており、貴重な史料の散逸を防ぎ、研究に使用しやすい状態にするため複製やデジタル化する必要がある史料も大量に確認された。また、これらの史料を用いた博愛社を中心とした大阪地域における慈善事業や社会事業の実体解明が重要な研究課題としてあった。

## 2. 研究の目的

本研究は博愛社に残された貴重な史料を整理し、その目録を作成し、そして永く保存する作業を継続し、さらにそれを利用して大阪の地で長く続いた博愛社の歴史を研究していくものである。まさに博愛社の歴史は、日本の社会福祉の歴史ともいえる重要な施設であることは疑いなく、そしてその研究は今日の混迷する児童の諸問題を解くヒントを得るためにも貴重な研究である。また博愛社にかかわる関係事業や人物を研究することは社会福祉の歴史のみならず、近代史への貢献となるものである。

## 3. 研究の方法

### (1) 史料整理・保存作業の継続

史料保存と史料目録の追補作業を行った。『博愛社所蔵史料仮目録』(博愛社史研究会、2010)を基本に、史料の確認作業と未整理の作業の整理・追加作業を行った。

### (2) 貴重な一次史料の撮影作業

小橋勝之助の日記等に代表される明治 10 年代から昭和時代にかけての貴重な一次史料等については写真撮影を行い、デジタルデータ化が終了していた。

今回は、博愛社設立初期から大正期にかけての貴重な一次史料について、優先順位を決めて撮影作業を行った。

### (3) 機関誌等の複製作業

博愛社の機関誌『博愛雑誌』や『博愛月報』、『博愛社月報』、『博愛の園』、そして小橋勝之助や初期の史料の複製を作成し、史料保護や研究の為に利用しやすい状態にした。

### (4) 史料の解読作業

創立者小橋勝之助の創立前後の貴重な日記については、その解読と翻刻作業を継続して行った。

### (5) 書簡、ハガキ類の整理作業

未整理のまま保存されていた書簡、ハガキ類の史料について、所蔵の確認、整理・目録の作成を行った

### (6) 現場の職員との連携

当施設職員にも時間の許す限り参加を得た。また、以上の作業や打ち合わせについては、整理、補算作業については主に博愛社の会議室を利用させてもらうなどの協力を得て行った。

## 4. 研究成果

### (1) 史料の整理・保存作業

整理・保存作業については、2010 年 3 月に完成した仮目録の確認・整理作業及び保存作業、貴重史料の複製、写真撮影作業を継続して行った。

また、未着手であった書簡・ハガキ類の整理作業を実施し、『博愛社所蔵史料目録 (書簡・ハガキ類 (1))』を刊行した。

これにより、貴重な史料の保存が保たれ、また新たに発見された史料の整理・分類が進んだ。

### (2) 一次史料の翻刻作業

博愛社創設期における特に貴重な史料である小橋勝之助日記の解読、翻刻作業を継続して行い、翻刻作業の成果を『小橋勝之助日

記 天路歷程』(博愛社、2011)として出版した。

これにより、博愛社の創設者である小橋勝之助の日記が活字となり、創設期の実体解明のための特に重要な史料として研究に使用できる状態となった。

### (3) 博愛社と大阪地域における慈善事業・社会事業の実体解明

整理した史料を用いて、博愛社を中心とした大阪地域の慈善事業や社会事業の実体解明に関する研究を行った。その成果を『大阪「博愛社」の歴史的研究』(108頁)として刊行した。

これには論文・研究ノートは5編と史料紹介1編を収載した。それぞれの論題は以下の通りである。

#### (論文・研究ノート)

- ・今井小の実「博愛社と『鳴尾記念母の家』の創立」
- ・片岡優子「私立愛隣夜学校の創立と博愛社」
- ・蜂谷俊隆「大阪(市・府)における小児保健所の設置と『博愛社小児保健所』について」
- ・大野定利「博愛社の恩人 阿波松之助をめぐって」
- ・倉持史朗「博愛社における学校教育の史的研究」

#### (史料紹介)

- ・水上妙子「小橋実之助 アメリカ視察(書簡 絵ハガキ綴)」

今井、片岡、蜂谷の論文は、それぞれ博愛社内的重要な施設、もしくは関係ある施設機関と称せる「母の家」、「愛隣夜学校」、「小児保健所」について言及したもので、いずれもこれまでその詳細が解明されてこなかったものである。これについて原資料に当たりながら論究している。これらは博愛社史という個別課題はもちろんのこと、社会福祉や教育の歴史においてきわめて重要なケース研究でもある。

また、大野の論文は、創設期の博愛社の極めて重要な協力者である阿波松次郎という人物へのアプローチ、倉持の論文は博愛社小学校という施設内の小学校への研究として今後の深化が待たれるものである。

さらに、水上の史料紹介「小橋実之助 アメリカ視察(書簡 絵ハガキ綴)」は、小橋のアメリカ視察の書簡の翻刻である。小橋の個人史のみならず、博愛社史や児童福祉史においても貴重な翻刻である。

これらによって、これまで明らかでなかった博愛社の活動の一端が明らかになってきた。

また、室田保夫は『近代日本の光と影－慈

善、博愛、社会事業をよむ』(関西学院大学出版会、2012年3月)を出版し、そこに本研究の成果である「博愛社の機関誌『博愛月報』－近代日本の社会事業雑誌」を収載した。

## 5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文](計 2件)

- ① 室田保夫「博愛社の機関誌『博愛月報』－近代日本の社会事業雑誌」『Human Welfare』3巻1号(関西学院大学人間福祉学部), pp. 5-21, 2011(査読無)
- ② 室田保夫・鎌谷かおる・片岡優子「小橋勝之助日記(五)－『天路歷程』」『Human Welfare』3巻1号(関西学院大学人間福祉学部), pp. 177-186, 2011(査読無)

[学会発表](計 0件)

[図書](計 4件)

- ① 室田保夫編『大阪「博愛社」の歴史的研究』(博愛社史研究会)2013、108頁
- ② 室田保夫・鎌谷かおる編『博愛社史料目録(書簡・ハガキ類(1))』(博愛社史研究会)2013、100頁
- ③ 室田保夫『近代日本の光と影－慈善、博愛、社会事業をよむ』(関西学院大学出版会)2012、462頁
- ④ 室田保夫・鎌谷かおる・片岡優子『小橋勝之助日記 天路歷程』(博愛社)2011、119頁

## 6. 研究組織

### (1) 研究代表者

室田 保夫 (MUROTA YASUO)  
関西学院大学・人間福祉学部・教授  
研究者番号：90131614

### (2) 研究分担者

今井 小の実 (IMAI KONOMI)  
関西学院大学・人間福祉学部・教授  
研究者番号：20331770

倉持 史朗 (KURAMOCHI FUMITOKI)  
天理大学・人間学部・准教授  
研究者番号：70411056

原 佳央理 (HARA KAORI)  
相愛大学・人間発達学部・非常勤講師  
研究者番号：50441093

(3) 連携研究者  
( )

研究者番号：

(4) 研究協力者  
佐野 信三 (SANO SHINZO)  
社会福祉法人博愛社・理事長

竹林 徑一 (TAKEBAYASHI KEIICHI)  
桃山学院高等学校

大野 定利 (OONO SADATOSHI)  
社会福祉法人博愛社

水上 妙子 (MIZUKAMI TAEKO)  
仏教大学大学院

鎌谷 かおる (KAMATANI KAORU)  
関西学院大学・非常勤講師

片岡 優子 (KATAOKA YUKO)  
関西学院大学・非常勤講師

陳 礼美 (Chen Li-Mei)  
関西学院大学・人間福祉学部・准教授

蜂谷 俊隆 (HACHIYA TOSHITAKA)  
関西学院大学大学院・研究員